

平成24年度奈良県地域教育力サミット

第1部会(地域の参画・協働による教育部会)

- 1 日時・会場 平成25年2月4日(月)10:00~12:00 教育委員室(県庁2階東棟)
- 2 出席者 松村 佳子(県教育委員会委員長) 藤田 謙治(県小学校長会会長)
出口 隆司(県PTA協議会会長) 元根 俊孝(県高等学校長協会副会長)
中田 章子(県国公立幼稚園長会会長) 栗木 裕幸(県保育協議会会長)
- <事務局>
教育次長、協働推進課、文化・教育課、青少年・生涯学習課、子育て支援課
人権・地域教育課
- 3 内容 10:00~10:05 開会挨拶 奈良県教育委員会教育次長 松田 登志雄
10:05~10:35 プレゼンテーション~学校コミュニティの推進~
報告(1)第1部会オープンセミナーについて
(2)地域教育力推進モデル校の取組の現状について
(3)平成25年度地域教育力推進のための事業等について
10:35~11:55 協議(1)本県の子どもの課題解決に向けて
(2)他機関とのネットワークづくり
(3)その他
11:55~12:00 閉会挨拶 奈良県教育委員会教育委員長 松村 佳子

<協議内容(抜粋)>

本県の子どもの課題解決に向けて

モデル校として、これまでの取組をさらに進め、学校の活性化、教職員、地域の意識の変革を図っていききたい。学校から地域に発信し、課題提示を着実にしていきたい。

県立学校は、地域との触れ合いが小中学校と比べて少ないという実態はあるが、各校の特性を生かしながら実施はできるものである。

子どもが生き生きと楽しく活動する姿を通して、保護者の意識が変わる。幼稚園は小学校の仕組みの中に、保護者と共に参加させてほしい。

保育所は保護者の集まりをもちにくいいため、施設を預かる施設長の力量が大きく影響する。そのため、専門知識、プロ意識を持って育てることが大事。保護者に子どもの未来像をもつことを働きかけ、子育て不安も共有しつつ、我々も共に育つよう努めたい。

地域により温度差、保護者の関心の差があり、PTAとして、どう保護者を啓発していくかが課題。学校に一番身近な存在は保護者。学校が行うことを周知し、保護者に理解を求めていきたい。各校の教育内容を再確認できる機会である。

学校長のマネジメント力は大事。子どもが、地域とつながっていることを実感として捉えられる活動を進めたい。

小学校では地域との活動は、生活科や特別活動など、特別メニューの中で取り込まれてきた。学校コミュニティを推進する上で、これを整理し、組織として活動をどこに位置づけるかを大事にして取り組みたい。



他機関とのネットワークづくり

<子育て支援課>

保育ニーズが高まっており、多くの乳幼児が育つ場として保育所の責任は重い。保育の充実のための取組の一つとして、本年4月から条例に基づき、保育所から県へ保育の評価や改善の取組等を報告していただくことになるので、報告結果を各保育所にフィードバックしていきたい。また親の育児不安・負担感を軽減し、安心して自信を持って子育てしていただけるよう、市町村の子育て支援事業のマニュアルやプログラム作成等により、その拡充を支援している。

<メリットとして>

取組全体として

- ・既存の取組を見直す契機
- ・事業に発想の転換
- ・熟議を通じて課題が見え、共通理解が進む
- ・学校、地域の双方向の情報発信
- ・連携が進み、組織が見える
- ・地域と教職員とのコミュニケーションが増える
- ・地域の方々の好意、熱意を感じる

<協働推進課>

平成20年度に「奈良県『地域の教育力』再生委員会」が設置され、平成22年度からモデル事業として「なら通学合宿」がスタート。この取組は、子どもたちが一定の期間家庭から離れて、公民館などで異なる学年の子どもたちや地域の人々と寝食を共にして学校へ通うというもの。また、地域活動団体やNPO法人等から、学校や地域での活動等に使用できるプログラムを募集し、リスト化して提供する「体験学習プログラム」も実施。

<文化・教育課>

早稲田大学と連携し、平成24年度、モデル的に「アンガーマネジメント・トレーニング」を実施。これは自己をコントロールするためにコミュニケーション能力を培うトレーニングである。また、平成2年から地域振興を総合的にマネジメントする人材を育成するため、「まほろば地域づくり塾」を開講。

<青少年・生涯学習課>

「子どもと大人でつくる地域のつながり事業」を実施予定。大人と子どもと一緒に交流して、遊び学ぶ機会をつくる取組。また、野外活動センターでは、子どもからお年寄りまで幅広く利用できるよう、様々なプログラムを用意。

<人権・地域教育課>

学校コミュニティの推進は、学校をベースとして地域コミュニティを再構成すること。学校からは、他校区の取組は見えにくいので、規範意識や社会性を育てる各校区の取組を、公表・公開し、発表する場をつくりたい。さらに、来年度新たにバックアップ体制をしっかり構築し、経験者を巡回させるシステムを取り入れたい。



親が子どもと安心して向き合っている状況があってはじめて、子どもたちの規範意識は醸成される。

県PTA協議会として、保護者もしっかり教育していく必要があると感じている。

地域教育力向上の取組において、知事部局、教育委員会で連携して進めてほしい。

各校が、地域教育力の向上に関して模索している状況が見られる。これからもモデル校の情報を積極的に発信していただきたい。